

2. 議事

(3) 中・長期的な取組について (施設の再整備のあり方など)

中・長期的なまちづくりの検討について

金剛地区再生指針では

『豊かで多機能な「空間・施設」の充実』

金剛中央公園

- ・地域の交流拠点として育む。
- ・青少年スポーツホールのあり方検討と合わせて機能強化を図る。

青少年 スポーツホール

- ・既存の文化・運動施設の再整備や使い方を検討する。
- ・地域ニーズに基づき、老朽化施設再整備の検討する。

商業施設・ 空き店舗等

- ・商業施設の更新等の機会をいかし、多機能が複合した拠点づくりを目指す。
- ・関係者間で拠点づくり等に向けたビジョンを共有する。
- ・空き店舗の暫定利用による、試行的な取組を進める。

寺池公園

- ・水辺と緑の楽しめる公園として再生する。
- ・市民参加で再生や維持管理を進める。

ふれあい大通り (金剛駅～中央公園)

- ・多様な活動の場となる「まちの顔」として育む。
- ・沿道の周辺施設等の再整備を行う際には、美しさ、賑わい、出会いの創出を実現する。

ハード・ソフト両面からの取組の方向性が示されている。

官民連携手法を取り入れた公園(施設)の再整備検討に向けて、「サウンディング型市場調査」を実施(H30年11月～H31年2月)。

■調査の対象とした公園(施設)

金剛中央公園、青少年スポーツホール、寺池公園

■調査の概要

公園(施設)の再整備、新たな施設の設置、質の高い管理、空間の特性を活かしたプログラムなどについて、民間活力による整備・運営スキーム、市場性の有無、公園及び周辺地域への魅力向上の視点等を含めた実現性のあるアイデアを募集し、事業手法を検討する際の参考とする。

調査結果 参加団体=3団体

《提案の概要(主なもの)》

○スポーツをテーマとしたまちづくりの推進

- ・天然芝グラウンドの整備、コミュニティスペースを備えたクラブハウス等の整備
- ・公園等をネットワーク化した、ランニング・ウォーキングコースの設定

○その他

- ・駐車場の運営、カーシェアリングの実施、カラー舗装による魅力的な空間創造

調査結果を踏まえ、利活用促進、周辺地域の魅力向上、公費負担等の視点から、施設等の再整備のあり方等について検証・検討を進める必要がある。

3

一方で、サウンディング型市場調査はあくまで **事業者視点** での提案であり、

サウンディング調査結果ありき ではなく

あらためて、住民視点のニーズ等を踏まえた検討を進める必要がある。

ハード的整備の必要性

- ・施設の老朽化・陳腐化・ニーズ乖離等への対応
- ・地区活性化の起爆剤 etc

サウンディング結果検証

- ・官民連携の推進
- ・財政負担の軽減 etc

住民等ニーズ等

- ・コミュニティの活性化
- ・自己実現の場の創出
- ・社会課題の解決 etc

これらの課題、及び市全体のまちづくりにおける金剛地区の位置付けや役割を踏まえ

地区に必要な施設再整備、都市空間の再編等について検討するため、「**金剛地区の施設等再整備のあり方検討調査業務**」を実施 (R1～2年度予定)

※現在、受注者の選定作業中。

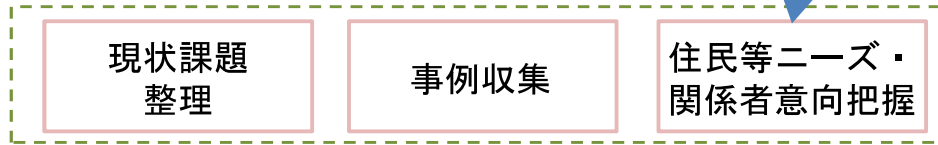
4

金剛地区の施設等再整備のあり方検討調査業務

【対象エリア・施設】

- ①金剛中央公園（公園、青少年S H、他施設）
- ②金剛銀座商店街
- ③南海金剛駅周辺（駅前～ふれあい大通り他）
- ④寺池公園

アンケート
ヒアリング等



上記の調査結果を共有

住民知識向上・意識醸成

まちづくり会議
の場を活用

希望や要望だけでなく、地区に必要な施設（機能、空間）、誰がどのように使いこなすか、使用頻度、財政的課題、採算性・市場性等を踏まえた視点で検討。

概ね20年後のまちの姿を見据え、地区に必要な施設や機能のあり方を整理し、将来のまちのイメージを取りまとめる。
（こんなまちになったらいいな）